

【評価実施概要】

事業所番号	0150480036		
法人名	医療法人北武会		
事業所名	グループホームほくと		
所在地	006 - 0023 札幌市手稲区本町3丁目2番5号 (電話) 681 - 7962		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年3月30日	評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】(21年3月 2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤16人 非常勤1人 常勤換算0.4人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 造り	
	3階建ての	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	暖房5千・光熱費1万円
敷金	有(40,000 円)		無
保証金の有無(入居一時金含む)	(無 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 430 円
	夕食	430 円	おやつ 123 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(3月2日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	14名
要介護1	4名	要介護2	7名	
要介護3	5名	要介護4	2名	
要介護5	0名	要支援2		
年齢	平均 86.5歳	最低 69歳	最高	101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北都内科クリニック・北寿会歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

手稲駅から徒歩10分、国道沿いの交通至便な住宅街にある。北都内科クリニックと併設し、区内には老人保健施設を運営。医療と介護の連携あるホームである。職員は常勤者で構成、他に、非常勤の看護師が配置され、基礎的訓練研修の下に連携ある活動が行われている。施設は病院の改造によるが居間、居室、トイレ、浴室、廊下の幅員など介護しやすく、機能的なつくりで採光、温湿管理の行き届いた、居心地のよい生活空間となっている。地域や家族との連携を大切にしたい運営を基本としており、計画的な行事の設計により利用者に多様なサービスの提供に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	職員と家族との連絡関係の充実、地域との連携、人事考課も含め職員の研修に努め資質の向上を図っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	全員が評価に参加して年間の業績について改善の成果を纏めている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は適度に開催され、家族代表、地域役員、民生委員、地域包括支援センター職員の参加のもとに、ホーム運営資料を提示して意見、助言を集約し、職員に周知している。なお家族から代表の交替制などの提案があり、運営に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	3階エレベーターの出口に意見箱を置くなど目立たない場への配慮や必要時の連絡・便り、運営推進会議での家族参加への積極的取り組みや意見・助言を受け止めて職員に周知し、家族の訪問時には丁寧な対応など苦情・不満の解消に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議が地域関係の接点になっていて、高齢者に関する問題を相互に理解する場となり、ホームの活動を周知して、具体的な交流が保健・医療と福祉との関連での地域の協力を得つつあり、小さなことから実現できるよう努めている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者本位のサービスと家族との連携、地域の一員として、地域に支えられる介護を目指した理念を作っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を実感して日々のきめ細かな観察や申し送りなど、個々の適切な処遇に当たっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	家族との連携を大切にして必要に応じた便り、連絡を密にするとともに、運営推進会議などで地域の関係委員との協議では、ホームの活動状況を周知し、意見や助言を得て運営に活かしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者他職員全員の自己評価がホーム固有の姿であるよう、活動を振り返って取り組んでいる。さらに、以前の自己評価を活かした連続性を踏まえて、一步高い具体的改善への取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームの日常の業務や行事などを通じた情報を提示して、活動状況を周知しながら会議が適度の開催されている。会議の結果も纏められ関係者に周知して運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>包括支援センターの運営推進会議への参加など意見・助言を得ているほか、区での連絡会議などの参加を通して、直接・間接的な連携と情報交換を行ってサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の家族連絡、来訪時での個々の対応に力を尽くしている。金銭関係の確認、ケース記録の周知と確認のほか心身の緊急連絡などきめ細かな配慮をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員全員が家族との日常的連絡を密にし、意見・苦情を確かに受け止める姿勢で臨んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>全員が常勤職員の体制で臨むため、新人には3ヶ月間の人事考課期間を課すなど、基礎的訓練と指導があり、利用者への安定的支援と資質の維持に厳しい体制を取っている。異動への配慮も整えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体での訓練体系を基盤に学習会への参加、固有な研修の機会を活かすなど、研修後の成果の共有にも努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>困難事例の検討会など他事業所との学習会や研修会に積極的に参加して意見等を交換し、職員の資質向上に活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が納得できる受け止めを大切にしながら見学やホームの雰囲気を感じ取ってもらうなど配慮、さらには自宅に訪問して、馴染みの関係を深めるなどの工夫を重ねている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者本位を第一にした対応に努め、寄り添いながら、職員と一緒に生活するように、その人のペースや生活のリズムに合わせた関係作りを工夫している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活での本人の希望、意向、動作を確認して柔軟な対応ができるよう努めている。困難な事例は家族や専門家の意見などを参考にして検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向、心身の変化や日常生活課題に応じた協議のもとに、介護支援専門員を中心に担当職員相互が協力して介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定例的な介護計画の見直しに職員全員が当たるとともに、心身の変化に応じた対応も家族の意向を踏まえた新たな見直しを組織的に行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>可能な限り利用者の状況や意向、家族の状況を含め必要に応じた支援対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	併設のクリニックが協力医療機関であり、かかりつけ医でもある。日常の健康管理・特定診断を行っている。また、ホームの看護師がオンコールで対応している。訪問歯科受診により治療を受けるなど医療連携対応を整備している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	終末期の対応を要する利用者の重度化には、家族との協議のもと、かかりつけ医や看護師を中心に、個々の終末期ケアに望む方向性を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の日常の動作、言葉に留意して受止め、そのサインに応える言葉掛けをし、その意図を損ねることのないよう努めている。また、ケアに係わった記録等個人の情報管理も適正に行っている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	支援処遇は利用者本位で優先し、個々の生活に応じたりズムやペースを大切にした支援を心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの出番や役割を見出して、一緒に食事を準備し、片付け、楽しめることが出来るような工夫を心がけている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の入浴意向が異なることから状態に応じて希望を聞き、随時気持ちよく、落ち着いて、安全に入浴を楽しめるよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日2回のレクリエーションの参加を誘い、個々の趣味・嗜好・経験に応じた意向等をくみ取りながらレクに活かすなど生活の活性化を図っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や行事などで計画的な外出支援を図るほか、3階のベランダを活用した対応で外気を味わい楽しむ機会を作っている。家族による支援の機会も大切にしている。		居住がビルの3階にあり、近隣は坂道が多く、戸外への散策が消極的な対応になると思われる。今後も可能な限り、ホーム内に籠らない工夫の検討を期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	閉塞的な条件で介護しないとの原則は職員全員が理解して実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の定期的な火災訓練を行い、日中、夜間を想定し消火器使用の初期消火・通報訓練・避難誘導・搬出などをおこなっている。スプリンラーは設置済みである。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分量の摂取量の確認と記録管理を行い、日々の状態に合わせた栄養と水分量のバランスが確保できるよう支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間、居室、台所、トイレ、浴室の配置、これらをつなぐ廊下の幅員等介護支援をする上で、機能的・合理的に改修されている。明るく、見晴らしがよく、季節の変化も楽しめる条件を満たしている。廊下には観葉植物の鉢物が並べられ清潔感があり、消火装置の整備など安心感の高いホームを作っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのある家具、家族の思いを込めた置物や飾り物など個々の生活にあった居心地よく生活できる工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。